

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

		評価日	平成30年3月31日
団体名	中込商店会協同組合		
事業名	地域協働によるまちゼミ事業		
対象経費	1,184,976円	支援金額	592,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>小規模店舗が大型店・量販店と品揃えや価格で対抗することが難しいため、商店街および個店が地域コミュニティの中心として地域住民の役に立てることをアピールし、商店の存在感、存在意義を高め、商店街と商店のファンをつくることを目的とする。また高校生をはじめ地域に住む色々な知識や技術を持つ人も地域の財産であり、そのような人の講座も開催し、より幅広いお客様に参加してもらえらる多彩なゼミを目指す。</p>
	<p>内容</p> <p>受講料無料で店主やその業界のプロ、あるいは地域の名人・達人の知識や技術・ノウハウを教える少人数制の講座を年間4回開催する。なお、材料費が必要な場合は告知の際に明記する。 告知はB4判のチラシ40,000枚を新聞折り込み、500枚を各店店頭に掲示および来店客に配布する。インターネットのWebサイトおよびFacebookにも掲載する。 講座の都度、アンケート調査をし、まちゼミに対する意見、商店街に対する意見を集積し、まちづくりに役立てる。</p>

事業の活動実績	<p>平成29年度は計画どおり年4回のまちゼミを開催し、のべ講座数も平成27年度66講座、28年度73講座に比べ92講座と増やすことができた。 参加者数は(H27)666人、(H28)847人に比べ(H29)765人と減っているが、まちゼミは「少人数制」で参加者と十分なコミュニケーションをとることが重要であるため、この減少はあまり問題ではないと思われる。 講座のなかには「まちづくり座談会」「高校生との座談会」というような「講座」とはちょっと違うものも含まれているが、多くのアイデアや要望があり、まちづくりやイベントの企画に大いに参考になった。 参加者のアンケートでは「大満足」「満足」がほとんどを占め、大変に好評だった。ただ、「すぐに定員になってしまっ、なかなか参加できない」と言われる講座もあり、できるだけ複数回開催するなど要望に沿うよう努めた。</p>
---------	--



事業の成果・効果	<p>ゼミの参加者が後日買い物に来てくれる、飲食店なら食事に来てくれるという直接的な効果がある。ゼミ終了後、友人同士で「お昼食べて行こうか」など、商店街への波及効果もある。</p> <p>少人数で話ができるため、グリーンモールの活用や空き店舗の活用、イベントの開催や次のゼミに向けた改善点や講座の希望などを細かく聞くことができる。具体的には「アンケートで麻雀講座の希望があったんですが」という話題に「白田ではこのようにやっているそうです」など、企画立案を参加者と一緒に進めることができる。</p> <p>このような状況で参加者が親近感をもってまちゼミの講師を紹介してくれたり(楽しく家庭菜園)、自ら「私はこういう資格を持っているから講座を開きたい(飾り巻き寿司・パステル画)」と申し出ていただいたゼミもあった。</p> <p>まちゼミの本来の趣旨である、お客様にも商店にも商店街に良い「三方よし」の事業として実施することができた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
その他、評価すべき点等		

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>平成23年度から6年、22回のまちゼミを開催してきて、中込商店街のイベントとして定着してきた。さらに、お客様から多くの新たな講座の要望があり、また同じ講座を何回も開催している場合でも参加希望者が減らない講座も多くある。今後も継続して開催するとともに、より参加店を増やし、地域の協力を得て多彩な講座を開くことを目指す。</p>
---------	---